

1. はじめに

1954年（昭和29年）、厳しい受験戦争を克服し、希望を持って横浜国立大学の門をくぐってから早くも65年の歳月が流れようとしている。小学校時代は太平洋戦争の戦火に逃げまどい、戦後の変革と苦難の時代に成長し、大学卒業後は日本の復興の第一線で働き、造船ブーム、いざなぎ景気、ドルショック、オイルショック、バブル時代を経験した私たちはまさに戦後日本の復興戦士であり、生き字引と言えるのではないだろうか？

今卒業後60年を迎え、個々の生きてきた道を振り返り、それをささやかな記録に遺そうと同期の有志により「一期一会」を作成した。寄稿文は同期の有志の寄稿によるが、特に「(仕事上)楽しかったこと、または辛かったこと」(あるいはその両方)にも主眼を置いた。

私達の在学中、温かく、ある時は厳しくご指導いただいた諸先生、諸先輩に厚く感謝するとともに、すでに鬼籍に入られた9名の同期生のご冥福をお祈りする。

以上

2019年3月吉日

発起人 柳田 圭一
吉識 恒夫
杉本 良樹
(以上 柳田 記)